



# 高取小通信 夏休み特別号

平成30年 7月20日  
福岡市立高取小学校  
校長 斉藤 典弘

## 1学期が終わりました

1学期は、本校の教育につきましてご理解とご支援をいただきありがとうございました。  
台風・大雨による臨時休校が2日間ありましたので、1年生が67日間、2～5年生が69日間、6年生が70日間という登校日数を終えて、本日終業式の日を迎えました。  
1学期を振り返り、私たち教職員としましては、大きな事故や災害もなく終えることができたと考えています。また、子どもたち一人一人の姿を見た時には、一所懸命に目標達成に向けて取り組んでいる子どもたちが多くいたのではないかと思います。しかし、まだまだ課題も残っており、2学期も引き続き解決に向け努力していかなくてはなりません。  
本日、お子様は「あゆみ」を持ち帰ります。子どもたち一人一人様々な思いをもって保護者の皆様に手渡すのではないかと思います。結果はどうであれ、まず「1学期お疲れ様。よく頑張ったね。」というねぎらいの言葉をかけてあげてください。大人でも子どもでも「自分なりに頑張ったことが認められている。」と思うと、うれしいものです。その次に、「あゆみ」の内容を踏まえ、2学期に向けたお子様の意欲づくりにつなげるご指導をしていただければ、ありがたいと思います。8月27日の2学期の始業式には、子どもたちの成長した元気な姿を見たいと思います。37日間の夏休み、どうか保護者・地域の皆様よろしくお祈りします。

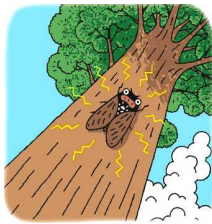
## 『しずかさや 岩にしみいる せみの声』

この俳句は、江戸時代に松尾芭蕉という有名な人がつくった俳句で、「奥の細道」という俳句集に入っているものです。この俳句は、芭蕉が山形県を旅しているときにつくられたそうです。ところで、この俳句に出てくるせみの種類は何かわかりますか。ちなみに、せみには、「ニイニイ、チツツ」と鳴くニイニイぜみ、「ジージー、ジリジリジリ」と鳴くアブラぜみ、「ミンミン」と鳴くミンミンぜみ、「カナカナカナー」と鳴くひぐらし、「シャーシャーシャー」と鳴くクマぜみ、「オーシツクツク」と鳴くツクツクボウシがよく知られています。さて、人の声もなく夏の澄み切った静かさを引き立たせるのはこの中のどのせみでしょう。

答えは、「ニイニイぜみ」です。そのわけは、芭蕉がこの俳句をつくった時期が梅雨明けの頃だということが分かり、この頃に鳴くせみは何かというと「ニイニイぜみ」になるそうです。せみは、種類によって鳴く時期が異なります。梅雨明け頃の初夏には「ニイニイぜみ」、夏真っ最中の盛夏には「アブラぜみ」→「クマぜみ」→「ミンミンぜみ」→「ツクツクボウシ」、そして夏の終わり(晩夏)になるとヒグラシというふうになるそうです。(現代では、気象の変化によりこの順番も変わってきているような気がします)

せみは、土の中で5～6年を過ごして大きくなり、自分で穴を掘り、地上に出て脱皮し、成虫の姿になります。このように苦労して地上に出て来て、一週間ほど仲間を声の限りに呼び続けると一生を終えてしまいます。そんなせみたちの鳴き声を追いながらひと夏の時の流れを感じてみるのもいいかもしれません。

(1学期終業式の校長の話より)



## ペットボトルキャップ&アルミ缶回収について

高取小学校では、ボランティア活動として今年もペットボトルキャップの回収を実施します。夏休みは、ペットボトルに入った飲料水を飲む機会も多くなるのではないかと思います。

9月20日(木)まで回収を行いますので、趣旨に賛同いただけるご家庭は、夏休みの間に集めていただき学校に持ってきてください。また、高取中学校で取り組んでいるアルミ缶の回収にも協力していこうと考えています。ペットボトルキャップと併せて夏休み中に集めて9月13日(木)までに学校に持ってきてください。ご協力をよろしくお願いいたします。



## PTA図書委員会のお話会・ぽかぽかぽけっとの読み聞かせ

7月10日(火)に PTA 図書委員会の皆様が、子どもたちのためにお話会を開いてくださいました。体育館はとても暑かったのですが、図書委員会の皆様はとても精力的に大きな本の読み聞かせや参加型の紙芝居、学校クイズを子どもたちにしてくださいました。双方向からのやりとりに、参加した子どもたちも意欲的に参加することができて大盛り上がりでした。



PTA図書委員会のお話会

また、翌11日(水)朝には、定例のぽかぽかぽけっとの皆様による読み聞かせも行われました。毎回子どもたちも楽しみにしています。このように高取小学校は、多くの保護者・地域の皆様に支えられながら、子どもたちが本に親しむ機会をつくっていただいています。夏休みは一冊でも多く本を読んで、心に栄養を補給していきましょう。

## 日頃の生活リズムを守って!

- ① あいさつができる。
- ② 時間を守ることができる(早寝早起き、遅刻をしない)。
- ③ 食事をとる(朝・昼・夕食をマナーを守ってしっかり食べる)。
- ④ 生活の目標や計画を自分自身で立て、それを実行できる。
- ⑤ 身の回りの整理整頓、清掃が自らすすんでできる。
- ⑥ 服装や頭髪を正しく整えられる。
- ⑦ 地域活動(子ども会活動、ラジオ体操)等にすすんで参加できる。
- ⑧ 社会や家庭、学校等のルールを守ることができる。



子どもたちは、夏休みになると、家庭や地域で生活します。学校では、時制があり、時間が区切られながら生活が規則的に行われます。ところが、長期休業日、特に夏休みはよい意味でも悪い意味でも子どもたちの生活に大きな影響を与えます。「夏休みを何とか生活のリズムを崩さずに上手に乗り切ること」こそが学校としての願いであり、子どもたちのがんばりどころであり、保護者の皆様の我慢のしどころでもあります。

普段、学校生活で行っていることが変わらず家庭や地域でも行われれば、そう心配することはないのですが、そうはいかないのが夏休みです。人間の気持ちというものは弱いもので、私もそうですが、つつい易きに流れてしまいます。

しかし、何とか食い止めるために、上記にある8つの項目について、このうちの何項目か継続していくことで、生活のリズムを保ってほしいと思います。このことが、37日間の夏休みを乗り切って、充実したものにつながっていくのではないかと思います。

参考までに、学校では、日頃から各学級で目標達成に向けた様々な取組を行っています。達成できた際には、達成シールをもらったり、帰りの会でほめてもらったり、学級でお楽しみ会や球技大会を開催したりするなど、目標達成の結果が子どもたちの喜びにつながるような取組も行っています。ご家庭でも、充実した夏休みになるよう工夫してみてください。

## お知らせ

本年度、先にお知らせしましたように閉庁日を設定することになりました。そのため右表のように8月11～15日は週休日や閉庁日等により職員が不在になります。

つきましては、事務手続き等必要な場合には、この期間以外の平日の8:30から16:30までに来校していただきますようよろしくお願いいたします。

**※2学期の始業式は、8月27日(月)です。**

8月11日(土)	山の日で休み
8月12日(日)	週休日
8月13日(月)	職員不在日
8月14日(火)	職員不在日
8月15日(水)	職員不在日